

そんな  
ご存じですか？

# ヘルプカード

「<sup>てだす</sup>手助けが<sup>ひつよう</sup>必要な<sup>ひと</sup>人」と

「<sup>てだす</sup>手助けを<sup>ひと</sup>する人」をつなぐカードです



ヘルプカードは、<sup>しょうがい</sup>障害のある<sup>かた</sup>方が<sup>さいがいじ</sup>災害時や<sup>きんきゅうじ</sup>緊急時、<sup>にちじょうてき</sup>日常的に

<sup>てだす</sup>手助けが<sup>ほ</sup>欲しい<sup>とき</sup>時に<sup>ねが</sup>お願いしやすくするものです。

## こんなときに役立ちます

<sup>さいがい</sup>  
災害のとき

<sup>ひなんばしょ</sup>  
避難場所<sup>す</sup>で<sup>す</sup>過ごすとき



<sup>きんきゅう</sup>  
緊急のとき

<sup>びょうき</sup>病気や<sup>ほっさ</sup>発作、<sup>お</sup>パニックが<sup>お</sup>起きたとき



<sup>にちじょうてき</sup>  
日常的に


<sup>がいしゅつさき</sup>外出先で<sup>てだす</sup>手助けが<sup>ひつよう</sup>必要なとき



<sup>がいけん</sup>外見からは「<sup>はいりよ</sup>配慮が<sup>ひつよう</sup>必要な<sup>ひと</sup>人」と<sup>わ</sup>分かりにくい<sup>ひと</sup>人（<sup>ないぶしょうがい</sup>内部障害や<sup>ちてきしょうがい</sup>知的障害、<sup>せいしんしょうがい</sup>精神障害など）が、<sup>しゅうい</sup>周囲の<sup>はいりよ</sup>配慮や<sup>てだす</sup>手助けを<sup>ねが</sup>お願いしやすくなります。

- いざというときに活用できるよう、<sup>かつよう</sup>事前にご<sup>じぜん</sup>自分の<sup>じぶん</sup>情報<sup>じょうほう</sup>等を<sup>きんゆう</sup>記入<sup>きんゆう</sup>しておく<sup>ひつよう</sup>必要があります。  
<sup>きんゆうれい</sup>記入例<sup>くわ</sup>など詳しくは、<sup>うらめん</sup>裏面<sup>もと</sup>をご覧ください。

きにゆうれい  
記入例

<p>苦手なこと・できないこと</p> <p>早く歩けない 大声、早口が苦手です</p> <hr/> <p>必要な支援など</p> <p>ゆっくり話してください 手すりがない階段では支えが必要です 母に連絡してください</p>	<p>あなたの支援が必要です</p> <h1>ヘルプカード</h1>  <p>角田市</p>
---	---

<p>記入日 令和5年1月22日</p> <p>氏名 角田 太郎 男・女 血液型 A型</p> <p>生年月日 昭和・平成・令和 5年5月1日</p> <p>住所 角田市角田字●●○○-○</p> <p>【緊急連絡先】</p> <p>氏名 角田 花子 本人との関係 母</p> <p>電話番号 0224-●●-●●●●</p>	<p>障害・病名 肢体不自由</p> <p>症状 左足が不自由です</p> <p>かかりつけ医療機関</p> <p>病院名 ○○病院</p> <p>主治医 ○○○○</p> <p>電話番号 ●●-●●●●</p>
---	--

ちゅういてん  
注意点

必ずしもすべての欄に記入する必要はありません。必要な欄のみ記入してください。  
他人に知られたくない内容は記入しなくてもかまいません。

けいたいほうほう  
携帯方法

- カードホルダーに入れる ○財布の中に入れる ○バックのポケットに入れる…等



といあわ  
問合せ

角田市役所

社会福祉課

障害福祉係

電話

0224-61-1185

FAX

0224-63-3975

メール

syafuku@city.kakuda.lg.jp